

## 寺島虎男先生を悼む

日頃健康で病を知らぬ君。血圧も正常であったというのに、突然、3月13日午後塚原高等学校の研究室で腊葉標本を整理研究中に脳出血で倒れ、松本市内相沢中央病院に入院加療されたが薬石その効なく遂に3月30日9時51分享年67才をもって他界せられた。

君は大正11年、長野師範学校を卒業されて以来、連続今日迄で48年間、凡そ半世紀にわたって教育に専念され、この後半は円熟せる技術を持って高等学校で生物学の教科を担当された。

この間、君は植物を愛し、分類・分布の研究家であった。君は視力が幾分弱かったので採集には大部困難したが、植物愛好の熱意でこれを克服し県下各地を歩かれた努力家であった。また、初学者指導の採集会もよく依頼されたので、これらの足跡も誠に大きいものがある。

県内在住者で信州植物の解明に努力した人の数が多いが、先ず一つの節を成したものは矢沢米三郎・河野令蔵氏の活躍時代であった。これに続いて小泉秀雄氏の影響は非常に大きいものがあったが、其後分類に志す人は稀となったように想像される。君の植物研究半世紀の基礎は小泉氏時代に発し今日に至った残り少ない研究家で、誠に惜しい人材であった。

今は亡き君の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

### ◎ 寺島虎男氏の略歴

- 明治35年7月13日生
- 大正11年3月 長野県師範学校卒業
- 南安曇郡組合立温明尋常高等小学校 在勤 3年間
- 北安曇郡平尋常高等小学校 在勤 2年間
- 同上 七貴尋常高等小学校 在勤 2年間
- 松本市松本尋常高等小学校 在勤 7年間
- 上伊那郡中沢尋常高等小学校 在勤 3年間
- 同上 宮田 〃 在勤 2年間
- 飯山市飯山高等教女学校 在勤 3年間
- 南安曇郡 豊科高等学校 在勤 19年間
- 松本市 塚原高等学校 在勤 7年間

### ◎ 法 名 精養教道諦信善居士

### ◎ 寺島虎男氏発表論文 (一部)

- 1936 松本市及近郊植物誌 松本市博物同好会 ガリ版 (寺島氏を含む会員6名の共著)
- 1951 上高地植物分布目録 南安郡誌編纂会 ガリ版 (小林富雄氏と共著)
- 1953 南安曇郡地方の鳥類について 信濃5巻、11,12号、P50~57 信濃郷土研究会
- 1955 植物の自然と変遷 豊科町誌P20~48 豊科町誌編纂会
- 1955 類似植物とその区別 ガリ版
- 1956 主要植物の分布等 南安曇郡誌才一巻 (小林富雄氏と共著もあり) P897より  
植物篇の各所 南安曇郡誌改訂編纂会
- 1957 信濃のViolaについて 信濃生物P29~41 信濃博物会
- 1958 信濃におけるラン科植物の分布誌 ガリ版自刊
- 1958 白馬岳8月中旬の植物上・下 山と博物館3巻9~10号 大町山岳博物館
- 1959 安曇の菌蕈類 ガリ版自刊
- 1960 山岳名を冠した植物1~5 山と博物館5巻3~8号 大町山岳博物館
- 1960 ゲシ・ウヤナギの分布(1) 同上5巻10号
- 1961 大水沢並びに須砂土の植物目録 ガリ版自刊
- 1964 美ヶ原の植物について 松本市周辺の自然P26~35 松本市理科同好会 (孔版)
- 1965 冬から春に胎動する植物 山と博物館10巻2号 大町山岳博物館
- 1967 植物、信濃の自然シリーズ(2)乗鞍・上高地P14~38 信濃生物会
- 1969 安曇山野の植物分布についての考察 長野県植物研究会誌 才2号P17~24
- 1970 類似植物と其の区別、改訂脱稿 未刊 《滑沢晴親記》